

学校だより 希望の鐘

ひとつのぼんはいちどしかひらかない



八戸市立 小中野中学校

平成29年5月26日(金)

No.85

文責：校長
工藤聡

Kくんのおかげで達成感を感じることでできた修学旅行二日目

先週の火曜日(5月16日)に、三泊四日の修学旅行から帰って来て10日がたちました。たった10日ですが、かなり以前のような気がします。3年生のみなさんは、楽しい思い出をいっぱいつくってきたようですし、再度行きたいという人もいっぱいいます。しかし、引率する先生方には、大変なプレッシャーでの4日間となります。私は、他の先生よりは比較的早く部屋に入ることができるので、疲れ方もさほどではないにもかかわらず、疲労困憊(ヒロウコンパイ：ひどく疲れること)で戻って来ました。7時間30分あったディズニーシーでは、ひたすら座って本を読んでいた。女子には、「信じられない」「あきれた」というような顔をされたのですが、より疲れなためと、できるだけ疲労を回復するためだったのです。ただ、今考えてみると、私にとっての修学旅行のハイライト(物事で最もいきいきとしている場面)は、2日目のテーマ別自主研修について一緒に行動した時だったと思います。今日は、その2日目の様子を簡単にお知らせします。

修学旅行の2週間くらい前に、学年主任の小野崎先生から「校長先生には、2日目の自主研修の時に、私と一緒に生徒と行動してもらえますか」と聞かれました。何も考えることなく「いいですよ」と返事したのですが、後で計画を見てみると、私にとってかなりハードなものでした。まず、移動距離がかなり長かったのです。宿泊したホテルのある最寄り(モヨリ：近所)の日暮里駅から→(JR山手線)→渋谷駅→(東急東横線)→代官山駅→(徒歩)→蔦屋書店→(徒歩)→代官山駅→渋谷駅→(JR山手線)→大崎駅→(りんかい線)→東京テレポート駅→(徒歩)→日本科学未来館→(徒歩)→テレコムセンター駅→(ゆりかもめ)→新橋駅→(JR横須賀線)→横浜駅→(みなとみらい線)→元町・中華街という感じでした。簡単に言えば、東京の東(日暮里)から西(代官山)へ1回移動し、そこから東側中央寄り(お台場)に戻り、さらに1回移動した西(代官山)を通り過ぎて神奈川県(横浜)に向かうという行程(コウテイ：みちのり)です。青森県内に例えれば、八戸から青森に行き、そこから三沢に戻り、三沢から青森を経由して弘前に行くような感じです。少しムダなようにも思えるのですが、代官山にある蔦屋書店の開店時間が午前7時と早いので、時間を有効に使うためだったと聞きました。そうすれば、日本科学未来館での滞在時間も多めにとれるからです。

テーマ別の自主研修は4コース(食品下町・スポーツ・芸術文化Aジブリ・芸術文化B科学未来)があって、私のついて行く芸術文化Bは、どの班よりも早い朝8時出発です。とにかく「楽しもう」「学ぼう」という気持ちが伝わってきますが、私としてはまず日暮里駅でくじけました。なんと30段くらいの上り階段が待ち構えていたからです。実は、修学旅行に出発する2週間くらい前から右膝に痛みが出て、連休中に針治療を受けたばかりでしたので、30段くらいでも私にとってはかなりの負担でした。首都圏の駅には、たいいてい階段とエスカレーターが併設(ヘイセツ：あわせて設置すること)されているのですが、生徒は誰もエスカレーターを使用せず、階段をさっさと上がっていくのです。一番後ろのKくんが「何でエスカレーターを使わないだ」と言っていました。私も同感(ドウカン：同じように感じること)でした。お台場の日本科学未来館に行く時も、無料の循環(ジュンカン：めぐり回って元に戻る)バスがあったのですが、そのバスを利用する(30分)よりは歩いた方(15分)が早いということになりました。その時も、Kくんが「何でバスにしないんだ」と私の前でつぶやいていましたが、やはり同じ気持ちでした。Kくんが疲れて、遅れそうになった時は、周囲の人から「K、遅いぞ」とか「頑張れ」と励まされていましたが、まるで私が言われたように感じていました。そのKくんも、横浜に着いたとたん、まるで疲れを忘れたかのようにみんなと走って中華街に向かいました。

蔦屋書店では、現在集中して読んでいる作家の著作本を買おうと思ったのですが、目指す本がなく、書店内にあるコンビニでミネラルウォーターを買いました。それが右のレシート(縮小版)です。日本科学未来館では、1階で休んでいたFさんが、落ちていたお財布を拾ったので届けました。電車に乗る機会が多かったのですが、熟睡し過ぎて座席からずり落ちて床で寝ていた男性を、Yくんが降りるまで凝視(ギョウシ：じっと見つめること)していました。渋谷では、ハチ公前のスクランブル交差点を渡りました。どれもこれも、自主研修でなくては経験できない生きた勉強だったと思います。

身体的には疲れましたが、生徒とともに見学地を回り、同じ距離を歩くことができたことで、達成感のようなものを感じることができました。それもこれも、Kくんと一緒に行動できたからだだと感謝しています。Kくんありがとうございました。

ファミマ!! FamilyMart DAIKANYAMA
1-7-9 SANGAKU CHO SHIBUYA-KU
TOKYO JAPAN TEL.03-5728-2341

代官山店
東京都渋谷区猿楽町1-7-9 代官山T-SITE蔦屋書店1号館1階
電話：03-5728-2341

領 収 証

2017年 5月14日(日) 9:39

天然水・南アルプス	¥108
小 計	¥108
合 計	¥108
(内消費税等	¥8)